栗東市野洲川運動公園　陸上競技場

親子フットボールフェスティバル

2014年　5月5日(祝)　少雨決行！

9:30　受付　～　12:30

あるようでなかった

ラグビー＆サッカー

合同のフェスティバル!!

会　場　：　栗東市野洲川運動公園　陸上競技場
参加費　：　1人200円(家族最大400円)
内　容　：　サッカー・ラグビーボールを使ったいろいろな遊び・ゲーム

連絡先(申込先)

総合型クラブ　NPO法人　りっとう
常務理事　織川篤志
☎Tel&Fax：077-558-2602
✉Mail：npo-ritto@gaia.eonet.ne.jp

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★フットボールの歴史★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

ラグビーとサッカーの原型は、11世紀ごろからの英国各地で盛んに行われていた農村の祭りの遊びだった。ボールのようなものを使って男同士が暴れ戦うもので、人数制限やフィールドのラインはなく競技時間も制限がなかった。手も足も使って構わなかった。
時が流れ、この遊びが競技化していく過程でルールの違いによって二つのグループが形成された。
伝統的なイートン校ＯＢ集団と新設だったラグビー校ＯＢ集団である。両校が統一ルールを作ろうとした。
イートン校支持者は、暴力的な肉体のコンタクト禁止しようと主張した。ボールのﾊﾝﾄﾞﾘﾝｸﾞ法をめぐっても対立。意見がまとまとまらず、ラグビー校支持者は会合を中座し　統一ルールから手をひいてしまった。
そこで、イートン校支持者は、肉体的コンタクトを禁止し、手の使用を制限する「フットボール　アソシエーション」を設立。
このルールに基づくフットボールが、後にサッカーになる。
ラグビー校支持者は、反発。ボールをもって走る事を禁止すると、それはゲームではなくなる。切磋琢磨して戦う事や、勇気や逞しさといったオトコらしさの必要性を強調した。そして、１８７１年「ラグビーフットボールユニオン」を設立。
競技志向を異にしたため、違う道を歩んだ。　　スクラム　松瀬学著　光文社　￥７４０　参照

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★